



平成 22 年度 第 2 回 JASDI フォーラム開催のご案内

医薬品安全性確保の取り組み-市販後の有害事象自発報告の活用

医療情報データベースを活用した医薬品の安全性確保の取り組みについて、今年 7 月に「医薬品の安全対策等における医療関係データベースの活用方策に関する懇談会」において提言案が提出されました。今後、レセプトデータベースや電子カルテ情報も医薬品の安全性確保のために活用されていくことになると考えられます。これらの情報が医療全般の情報であるのに比べ、有害事象自発報告システムに基づき報告・集積されたデータは、因果関係は明確でなくとも、報告者が医薬品との関係に疑いを持った事象の重要な情報源であると考えられます。日本においても、製薬企業や医療機関からの報告が医薬品医療機器総合機構より「副作用が疑われる症例報告」として公開されています。本フォーラムではこのような自発報告システムにより集積されたデータの活用方法を中心に各講師の先生方にご講演をお願いしました。

皆様の奮ってのご参加をお願いいたします。

記

日時：平成 23 年 2 月 19 日(土) 13:30~17:00

場所：慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパス マルチメディア講堂
(東京都港区芝公園 1-5-30)

主催：日本医薬品情報学会(JASDI)

13:30~13:35 主旨説明

座長 東京大学医学部附属病院薬剤部 助教 大野能之

13:35~14:25 医薬品医療機器総合機構におけるデータマイニングの活用

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第二部調査役 岸 達生

14:25~15:15 AERS データの活用を考える

キッセイ薬品工業 国際 PMS センター長 永尾豊

15:15~15:30 休憩

座長 元順天堂大学浦安病院 薬剤科長 小清水敏昌

15:30~16:20 自発報告と薬剤疫学研究

東京大学大学院薬剤疫学講座 教授 久保田潔

16:20~16:40 追加発言 医薬品の安全対策等における医療関係データベースの活用方策に関する懇談会報告書から

慶應義塾大学薬学部医薬品情報学 教授 望月眞弓

16:40~17:00 質疑応答

参加費：JASDI 会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生 1,000 円

JASDI ホームページの「JASDI フォーラム登録フォーム」からお申し込みいただくか、E-mail(jasdi-forum110219@jasdi.jp)にてお申し込みください。E-mail の場合は、1.氏名、2.所属、3.連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)、4.希望するフォーラムの回数、5.JASDI 会員・非会員の別を記載のうえ送信してください。